

「東北外国人介護人財懇談会」次第

令和6年度 第2回 東北福祉大学同窓会介護事業所管理者会研修会

日 時：令和6年12月16日（月） 13：30～16：30（受付開始13：00～）

場 所：株式会社ジェー・シー・アイ 本社1階 セミナールーム

（住所：宮城県富谷市成田1丁目5-3 ※添付地図参照）

駐車場：(株)ジェー・シーアイ様のご厚意により一定台数分をご用意しております。

大変恐縮ですが、申込グループ・団体毎に1台に相乗りでご来場賜りますようお願い申し上げます。

持ち物：お名刺2枚(受付提出用・名札ケース用)

上履き(スリッパに数の限りがございます。上履き持参にご協力をお願いします)

共 催：東北福祉大学同窓会介護事業所管理者会

一般社団法人山形県地域包括支援センター等協議会

司 会：峯田 幸悦氏（東北福祉大学同窓会介護事業所管理者会 幹事長）

懇談会概要

第1部では、技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議の委員を務められていた国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部 部長の是川夕様を講師にお招きし、今後の日本の外国人人財の受入れについてご講演して頂きます。

そして第2部では、3県の各施設から東北の現状をご報告して頂きます。その後には是川様を交えて、今後の東北を皆様と一緒に考えていく懇談会を実施させて頂きます。

【プログラム】

13:30 開会挨拶 東北福祉大学同窓会介護事業所管理者会 副会長 齋野 和夫氏

13:35～13:40 会長挨拶 東北福祉大学同窓会介護事業所管理者会 会長 涌井 和氏

《第1部》

13:40～14:40 講演「アジアの国際労働市場から見る日本の介護産業」

国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部 部長 是川 夕氏 ★詳細次頁参照

14:40～14:50 休憩

《第2部》

14:50～15:50 東北エリアにおける外国人介護人財の現状報告

① 【宮城県】「ニュークックチルの導入と外国人介護人財について」

社会福祉法人宮城福祉会 特別養護老人ホームゆりの里七ヶ宿主任管理栄養士 渡邊 岳明氏

② 【山形県】「外国人介護人財の受入事例の紹介」

医療法人宏友会 介護老人保健施設うらら 業務部長 日下部 晃宏氏

③ 【福島県】「福島県内の外国人介護人財の状況について」

一般社団法人福島県老人福祉施設協議会 専務理事 兼 事務局長 高木 健氏

15:50～16:25 懇談会

16:25～16:30 閉会挨拶 東北福祉大学同窓会介護事業所管理者会 副会長 松川 弘氏

是川夕氏サイン会 書籍：「日本の移住労働者」販売 ★詳細次頁参照

当日連絡先：東北福祉大学同窓会 介護事業所管理者会事務局

担当：萱場力(かやばちから)TEL：022-342-8450（事務局携帯に転送）

【講師プロフィール】

是川 夕氏（国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部 部長） 青森県出身。

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了、博士（社会学）を取得。OECD 移民政策会合ビューローメンバーなどを務めたほか、現在は OECD 移民政策専門家会合（SOPEMI）政府代表も務める。専門は移民研究、社会人口学。最近の著書に「日本の移住労働者」がある。

2024年4月 - 現在	文部科学省, 中央教育審議会生涯学習分科会日本語教育部会専門委員
2023年4月 - 現在	公益財団法人日立財団, Global Society Review編集委員長
2022年12月 - 現在	出入国在留管理庁, 技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議
2022年10月 - 現在	厚生労働省, 外国人の雇用・労働に係る統計整備に関する研究会
2021年3月 - 現在	厚生労働省, 外国人の雇用対策の在り方に関する検討会
2020年6月 - 現在	出入国在留管理庁, 外国人に対する基礎調査に関する有識者会議
2013年11月 - 現在	OECD, 移民政策専門家会合 (SOPEMI)
2013年6月 - 現在	OECD, 移民政策作業部会 (WPM)

当日販売書籍：「日本の移住労働者」

OECD 労働移民政策レビュー

★是川先生サイン入り

<https://x.gd/ZmwVr>

会場内で特別割引価格で現金販売(定価：3,960円→3,168円)

※お釣りのないよう現金でご用意ください。



日本特有の状況における労働移民政策の役割はどうあるべきか。高齢化が労働力人口に及ぼす影響に対応するため、ここ数年で海外からの人材採用のガバナンスに大きな政策変更を導入した日本の労働移民政策とその有効性を検証し、今後の方向性を明らかにする。

比較的少ない移民受け入れと急速な高齢化という日本特有の状況における労働移民政策の役割を検証し、今後の政策の方向性を明らかにする。あらゆる技能レベルの労働移住を対象としている。

留学生や高技能移民のための長年にわたる移住経路が、国際的な人材の誘致と定着においてどのような役割を果たしているかを評価する。また、最近導入された特定技能制度を含む、低・中技能職の主な移住経路についてもわかりやすく検証している。